

日本 萬歳 百擗 百笑

○旅順の玉ふー 骨皮道人
 旅順を閉塞せしむ袋の籠あり為軍ハ
 日本軍の為や包圍攻撃と文て命が玉ふ
 しまあゝか觸は美音り大砲の方が弾丸はし
 とあつて、ピンとる。音とよむる。ついで生木
 あい人百のおとす。いのち、歳からまゝ前
 りあゝ大砲の音ありと来り日ハ、まゝで
 棄山子のらりも努るやうなつて、まゝで
 ハタドーンとてらる音。まゝ及といふ法酒
 を思ひ付く海でもあつて、まゝ、おん、粉炭
 を掻き集めて、炭を玉を擗へ初め、甲
 うゝ、由同様、戦の考のに、まゝ、苦勞
 上よ、又、炭を玉で、まゝ、と、花
 氣が利りあゝ、ソリヤお撲の星、
 員の方、思を極つて、居る、まゝ、
 ちの、解、し、まゝ、炭を玉を大砲へ
 注いで、見ても、何程か、まゝ、甲、
 甲、まゝ、あゝ、大砲、まゝ、
 甲、まゝ、まゝ、まゝ、
 大砲の巨砲あゝまゝとあゝ



明治三十八年四月一日印刷今年五月五日發行印刷兼發行日本橋區吉川町二番地松本平吉(電話浪花二千八百八十六番)